

年金支給日 ニセ電話ご用心



来店客にカードケースで説明をしながら啓発グッズを手渡す署員ら＝大垣市郭町、大垣共立銀行本店

年金支給日の15日、大垣署は、大垣市と神戸町の各金融機関の本店や支店3カ所で、来店客にニセ電話詐欺への注意を呼び掛ける啓発活動を各金融機関と合同で実施した。

実施したのは、同市郭町の大垣共立銀行本店と同市恵比寿町の大垣西濃信用金庫本店、神戸町神戸の同行神戸支店。署員と大安区防犯協会、各金融機関の職員の計6人が参加した。

今回の啓発活動では、配る啓発グッズとして「キャッシュカード詐欺盗」に注意を促すイラストが入ったカードケースを初めて活用。同行本店では参加者が、ケースに描かれたイラストを使って説明をしながら、反射材、特殊詐欺への注意を促すチラシとともに来店客に手渡した。

署によると、1～5月の管内のニセ電話詐欺の被害は、被害額が593万円と前年同期比511万円減ったものの、件数は1件増の8件と増えている。

(鈴木隆宏)

大垣署 金融機関で詐欺被害防止啓発